

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	水洗化促進補助事業 (540318)			担当課	お客様サービス課		
	開始年度	平成1(1989)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	芦田弥生		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目) 清掃総務費	決算附属資料	160	頁	
	施策の大綱	上下水道の整備			関連計画等	-		
	施策名	下水道等を適切に維持管理する			根拠法令等	福知山市浄化槽維持管理事業補助金交付要綱等		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	浄化槽整備区域内の水洗化を促進することで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図る。						
	対象者	浄化槽整備区域内の居住者	対象者数	4,146	一人当たりコスト	17.77		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	浄化槽整備区域において、浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するため、10人槽以下の浄化槽を設置する者に対し、設置整備事業補助金を交付する。また、し尿と雑排水を併せて処理する浄化槽を設置している者に対し、維持管理事業補助金を交付する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		旅費		京都府水洗化事業(浄化槽)主管課長会議			7	
役務費		郵送料			88			
負担金補助及び交付金		浄化槽設置整備事業補助金			5,267			
負担金補助及び交付金		浄化槽維持管理事業補助金			42,504			
負担金補助及び交付金		浄化槽汚泥処理負担金			13,221			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		66,931	66,004	64,332	64,321	
		補正予算等・・・②			0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		63,293	62,366	60,694	60,683	
		国支出金		1,819	1,819	1,819	1,819	
		府支出金		1,819	1,819	1,819	1,819	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)		合併処理浄化槽設置整備事業		1,834	国補助金	16 頁
			合併処理浄化槽設置整備事業		1,321	府補助金	24 頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.96/0	0.96/0	0.96/0	/		
	概算人件費・・・④		7,680	7,680	7,680			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			74,611	73,684	72,012			
執行状況	執行額・・・⑥			61,447	61,087			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			91.8%	92.6%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
				/	/	/		
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		新規設置数	基	11/14	10/14	/14		
			単位あたりコスト	5,586.1	6,108.7			
	維持管理補助金交付件数	件	1281/1283	1288/1290	/1295			
	単位あたりコスト	48.0	47.4					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するためには、必要性の高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	交付要綱等の中で、規定に沿って行うことにより、適正に効率的に進められる事業である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	浄化槽の設置増進に繋がり、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図るために有効な事業である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	設置整備事業補助金、維持管理事業補助金を交付することにより、合併処理浄化槽の設置を促進し、これを目的とすることで、生活排水による水質汚濁防止、快適で住みよい生活環境の形成を図ることができる。 (定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	事業開始から約30年が過ぎ、当初に設置されたものの経年劣化が心配される年数となっており、現時点で補修に対する補助制度がなく、相談等の声が上がった場合、事業の方向性についての検討も必要となる。 設置者に、浄化槽を個人設置型で設置、維持管理をしてもらう上では、この事業の必要性は高いものである。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	設置整備事業補助金、維持管理事業補助金を交付することにより、合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水による水質汚濁防止、快適で住みよい生活環境の形成に努める。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	水洗化融資利子補給事業 (540319)			担当課	お客様サービス課		
	開始年度	昭和52(1977)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	芦田弥生		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 清掃費	目)	清掃総務費	決算付属資料	頁	
	施策の大綱	上下水道の整備			関連計画等	-		
	施策名	下水道等を適切に維持管理する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	合併処理浄化槽整備事業区域内における水洗化普及率の向上を図ることで、生活環境の改善・公共用水域の水質保全・生活環境の確保を推進する。 ⇒平成29年度をもって、事業を廃止した。						
	対象者	浄化槽整備区域内の居住者	対象者数	4,146	一人当たりコスト	0.49		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	合併処理浄化槽整備事業区域内において、トイレを水洗化しようとする者に対し、その改造資金の融資あっせんを金融機関に行うとともに、取扱金融機関に対しては、利子を補給する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		16	16	0	0	
		補正予算等…②			0	0	0	
		繰越し等…③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		16	16	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
	特定財源名称 (H29実績)						頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0	0.25/0	0./0	/		
	概算人件費…④		80	2,000	0			
総事業費(①+②+③+④)…⑤			96	2,016	0			
執行状況	執行額…⑥		0	0				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	0.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
				/	/	/		
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
				/	/	/		
		単位あたりコスト						
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	×	利用実績なく、必要性を感じない。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	×	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	×	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	×	利用実績なく、効率性を感じない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	×	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	×	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	×	利用実績なく、有効性を感じない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	×	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	×	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成21年度以降、借入申請なく実績なし。	
	今後の課題及び方向性	平成30年度以降、事業は廃止とした。また、関連する要綱、規程も平成30年4月1日をもって廃止した。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	下水道事業会計負担金 (540332)			担当課	財政課	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山田 信義	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 下水道費	目) 下水道施設費	決算付属資料	164	頁
	施策の大綱	上下水道の整備			関連計画等		
	施策名	下水道等を適切に維持管理する			根拠法令等	地方自治法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	下水道事業会計の財政基盤の安定を図ります。					
	対象者	下水道事業会計	対象者数	-	一人当たりコスト	-	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	下水道事業会計への負担金					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		負担金		下水道事業会計への負担金			730,616
関連事業	下水道事業会計各事業						
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		913,465	883,131	876,044	870,019
		補正予算等・・・②					
		繰越し等・・・③					
	財源内訳	一般財源		913,465	883,131	876,044	870,019
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0	0.01/0	0.01/0	/
		概算人件費・・・④		80	80	80	
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			913,545	883,211	876,124	
執行状況	執行額・・・⑥		901,654	730,616			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.7%	82.7%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
				/	/	/	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		負担金決算額	百万円	901.7/913.5	730.6/883.1	/876.0	/
		単位あたりコスト		-	-		
				/	/	/	
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・基準に基づく負担金支出により、企業会計の財政基盤の安定を図ります。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・基準に基づく負担金支出により、企業会計の財政基盤の安定を図ります。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・基準に基づく負担金支出により、企業会計の財政基盤の安定を図ります。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・負担金により、下水道事業会計の安定的な運営が図られています。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	・下水道事業会計の安定的な運営のため、継続します。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	継続して下水道事業会計に負担金を支出します。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	農業集落排水施設事業特別会計繰出金 (510453)			担当課	財政課	
	開始年度	昭和61(1986)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山田 信義	
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 集落排水費	決算付属資料	頁	
	施策の大綱	上下水道の整備			関連計画等		
	施策名	下水道等を適切に維持管理する			根拠法令等	地方自治法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	農業集落排水施設事業特別会計の安定的な運営を図ります。					
	対象者	農業集落排水施設事業特別会計	対象者数	-	一人当たりコスト	-	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	農業集落排水施設事業特別会計運営に必要な一般経費等に対して繰出金を支出します。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		繰出金		農業集落排水施設事業特別会計繰出金			530,302
関連事業	農業集落排水施設事業特別会計各事業						
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		536,568	530,711	546,357	544,418
		補正予算等・・・②		△ 7,004			
		繰越し等・・・③					
	財源内訳	一般財源		529,564	530,711	546,357	544,418
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0	0.01/0	0.01/0	/
		概算人件費・・・④		80	80	80	
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			529,644	530,791	546,437		
執行状況	執行額・・・⑥		524,629	530,302			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.1%	99.9%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
				/	/	/	/
				/	/	/	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		繰出金決算額	百万円	524.6/536.6	530.3/530.7	/546.4	/
		単位あたりコスト		-	-		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・繰出金により、特別会計の安定的な運営が図られています。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	・特別会計の安定的な運営のため、継続します。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 継続して農業集落排水施設事業特別会計に繰出金を支出します。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	公衆便所管理事業 (520118)			担当課	生活交通課	
	開始年度	昭和0(1925)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	横山 晋	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 環境衛生費	決算附属資料	152	頁
	施策の大綱	上下水道の整備			関連計画等	-	
	施策名	下水道等を適切に維持管理する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公衆トイレ(岡ノニ・内記六丁目及び野家)の清潔保持に努め、市民その他の利用に供する。					
	対象者	市民	対象者数	80,000	一人当たりコスト	0.03	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 シルバー人材センター他					
	事業概要	公衆トイレの清掃委託、施設修繕。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		需用費		消耗品費、光熱水費			280
役務費		建物総合損害共済保険料			1		
委託料		清掃			321		
関連事業	なし						
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		538	554	550	553
		補正予算等・・・②		26	49	0	0
		繰越し等・・・③		0	0	0	0
	財源内訳	一般財源		564	603	550	553
		国支出金		0	0	0	0
		府支出金		0	0	0	0
		地方債		0	0	0	0
		その他特財		0	0	0	0
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.18/0	0.21/0	0.21/0	/
概算人件費・・・④		1,440	1,680	1,680			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,004	2,283	2,230		
執行状況	執行額・・・⑥		564	602			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.8%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		公衆トイレ数	箇所	3	3		3
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		稼働日数	日	354	361		365
		単位あたりコスト		1.6	1.7		
				/			
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	○ 公衆便所の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない。」に基づく事業である。夜間その他で一般利用できるトイレが外に確認できるようになった現在において必要性は薄くなってきている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	×	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 公衆トイレの衛生的な維持管理が図れる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ 公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他の利用に供するために有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他に対して公衆トイレの利用を供することができた。	
	今後の課題及び方向性	・引き続き市民その他に対して公衆トイレの利用を供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。 ・夜間その他で一般利用できるトイレが外に確認できるようになった現在において必要性は薄くなってきている。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・引き続き市民その他に対して公衆トイレの利用を供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	し尿収集事業			540337	担当課	生活交通課		
	開始年度	昭和0(1925)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	横山 晋			
	歳出費目	款)衛生費	項)清掃費	目)し尿処理費	決算附属資料	164	頁		
	施策の大綱	上下水道の整備			関連計画等	-			
	施策名	下水道等を適切に維持管理する			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び、本市の一般廃棄物処理計画に基づき処理する。							
	対象者	市民(未水洗、工事・イベント等仮設)	対象者数	-	一人当たりコスト	-			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 市内し尿収集運搬業者、上下水道部							
	事業概要	○し尿収集運搬業務を委託及び業者利用者間の連絡調整。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		賃金		臨時職員賃金			1,287		
需用費		消耗品費、印刷製本費(日程表・くみ取り券他)			259				
役務費、使用料及び賃借料		電話料、郵送料、くみ取り券売りさばき手数料、複写機使用料			725				
委託料(し尿収集運搬業務他1件)		し尿収集委託料、予備車保管業務委託料			97,416				
関連事業	なし								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		112,332	115,708	114,252	116,507		
		補正予算等・・・②		0	0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		81,292	87,810	88,046	91,397		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		31,040	27,898	26,206	25,110		
		特定財源名称(H29実績)	し尿汲み取り手数料		25,110	手数料	14	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.53/0	0.49/0	0.49/0	/		
概算人件費・・・④		4,240	3,920	3,920					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			116,572	119,628	118,172				
執行状況	執行額・・・⑥			111,269	112,928				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			99.1%	97.6%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		し尿収集量	kL	2347	2250				
		単位あたりコスト		47.4	50.2				
						/			
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○ 下水道等に接続していない便所がある限り、し尿収集運搬は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 下水道、農業集落排水、合併浄化槽等の整備事業が終了しても、下水道等に接続されていない便所があるため引き続いて事業を継続する。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ し尿収集量は減少しているが、下水道等に未接続の便所がある現状では、衛生的な環境を維持するために欠くことはできない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	今後も災害時を含め、安定して衛生的な環境を維持するためにし尿収集運搬業務を継続する。		
	今後の課題及び方向性	法及び処理計画に基づき継続する。		
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料金の見直し、下水道整備費用の算出必要 ・福知山市の財政を考えれば、まずは汲み取り券の値上げは考えざるを得ない。 ・100%を目指すよう、上下水道部と対象住民の方と話し合う場を持つべき。 ・これまでの経過は色々と思うが、水洗化の推進、赤字の縮小など関係部署含めて検討することを考えてもらいたい 		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	<p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も災害時を含め、安定して衛生的な環境を維持するためにし尿収集運搬業務を継続する。 ・下水道、農業集落排水、合併浄化槽等の整備事業が終了しても、下水道計画区域外の便所、区域内の下水道等に接続されていない便所や仮設便所があるため事業を継続する必要がある。 ・将来的には汲み取り料の値上げも検討する必要があるが、くみ取り式便所を使用している市民の一般的な環境として、高齢者、独居、低所得者層が合併浄化槽設置並びに公共下水道に接続といった水洗化に踏み切れていないことも踏まえ、市の財政負担の軽減のための急激なくみ取り料の値上げとならないよう慎重に検討をする。 	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	